

# ウクライナ難民支援 から学ぶ



2022年6月18日（土）

特定非営利活動法人 難民を助ける会（AAR Japan）

# 自己紹介 大室和也



2022年5月  
小峯弘四郎撮影

# AARとは

AAR Japan [難民を助ける会] は  
国内と海外で、  
紛争・災害あるいは障がいなど  
さまざまな理由によって  
社会的に支援が必要な人々を支援する  
国際NGO。

40年余りの実績と使命感をもつ  
人道支援団体です。

優しい気持ちを確かな支援のカタチに変えて、  
現場に届けます。



# AARの難民・避難民支援



# AARの難民・避難民支援



# テーマ 紛争による家族への影響



高齢者

子ども

障害のある人

女性

経済的に困窮

している人



家庭

学校

職場

近所



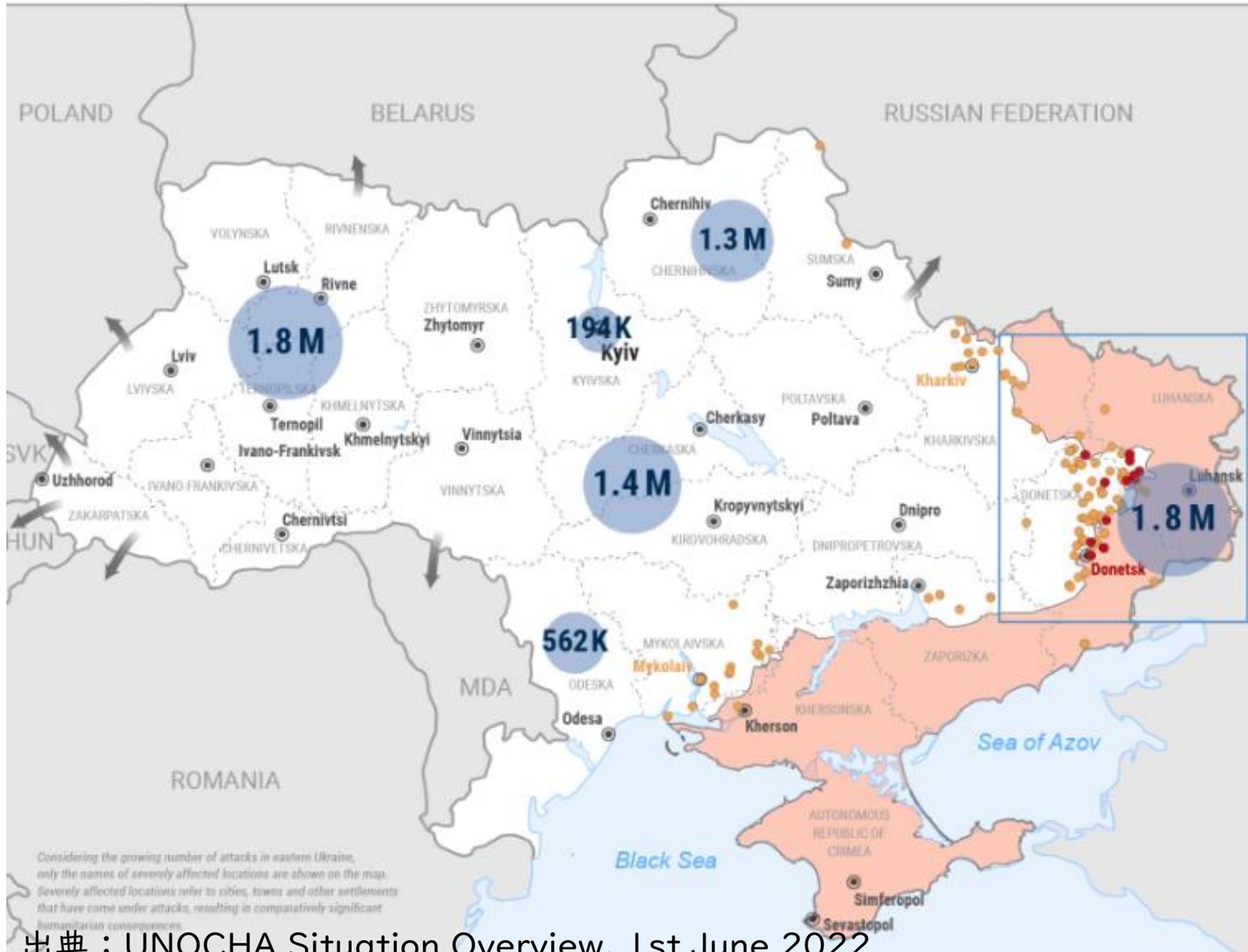
緊急期

復旧期

復興期

**REFUGEES FROM UKRAINE\***

Poland	3,627,178
Romania	989,357
Russian Federation	971,417
Hungary	682,594
Republic of Moldova	479,513
Slovakia	461,164
Belarus	30,092



# 難民を受け入れるモルドバ

- ・ヨーロッパの中では経済規模は小さい
- ・約260万人の国に43万人の難民が流入（通過した人数を含む）
- ・現在は約9万人が滞在

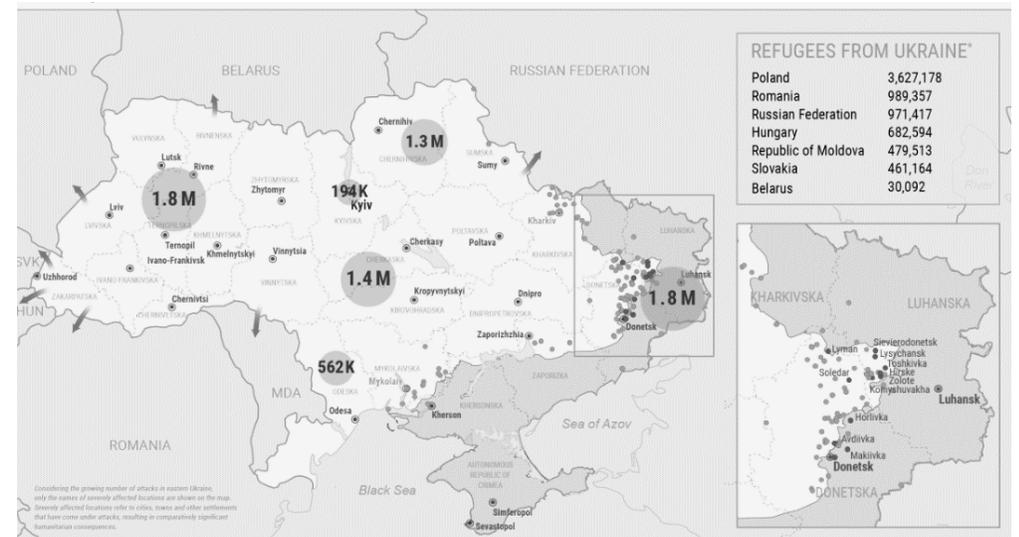


# 紛争による影響 国内避難民、難民について

国内にとどまらざるを得ない人

- 身体障害などで移動が困難
- 人工呼吸器などを使用していて長時間の移動が困難
- 経済的に困窮している
- 介助者が不在 など

国内にとどまっていたい人  
第三国には行けない人



緊急期

# 仮設食堂



**AAR Japan**  
認定NPO法人 難民を助ける会

ビデオの設定   
ビデオについて   
コメント   
ヘルプ 



2:21

# ポーランド / ウクライナ国境付近



ウクライナ国境に向かう幹線道路

ワルシャワ中央駅構内や駅前には、食料や医薬品、  
携帯電話のsimカードなどを無料で配付するブースが並ぶ。

# 仮設食堂



2:49

# AAR Japanの支援



2022年3月上旬  
ポーランド、モルドバへ職員を派遣  
2022年6月18日時点  
モルドバを拠点にし支援を展開



2022年3月18日 モルドバでの調査

# ウクライナ国内避難民への支援



ポーランド・ワルシャワの修道院に  
集められた支援物資。ウクライナ国内  
の修道院より、「食料の備えが1  
週間分しかなく、薬もありません」  
という緊急メッセージを受け、物資  
を輸送しました（3/10撮影）



「汚れなき聖母マリアの修道女会」提供

ウクライナ西部テルノピリ州の修道院で  
AARの支援物資を受け取った国内避難民の  
少女たち（3/14撮影）

# ウクライナ国内避難民への支援



修道院の一室に整備された診療室

# 周辺国に難民キャンプはない



例) バングラデシュのロヒンギャ難民キャンプ



ポーランドでの避難所の様子 2022年3月上旬



モルドバの避難所にある掲示板 (5/4撮影)

# モルドバでは95%が避難所以外に滞在



モルドバ共和国キシノウ市内 小峯弘四郎撮影

# モルドバに逃れた難民への支援



モルドバの首都キシナウ市内にある大学の学生寮で、温かい食事を提供



食料や日用品をパックにしウクライナ難民に配付  
(5/10撮影)

# モルドバに逃れた難民への支援



AARが設置した乾燥機と洗濯機



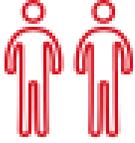
ミハイルさんに話を聞くAARの本間

子ども

ウクライナ国境近くから列車で運ばれて来た難民が休憩している。

# 紛争による子どもへの影響

世界の難民・国内難民



**8,240**  
万人

18歳未満の子ども



**40%**  
以上



ウクライナから避難した子ども

# 紛争による子どもへの影響



トルコで暮らす  
シリア出身の子ども

# 紛争による子どもへの影響



バングラデシュの青空教室で学ぶロヒンギャ  
避難民

0～3歳くらい 何が起きたのか理解できず、以前は怖がらなかったことを怖がる可能性があります。睡眠や食事行動に変化が起きる。

7～12歳くらい 起きた出来事を遊びの中で表現したりする（例えば、震災ごっこなど）ことがあります。これらは、子どもの自然なストレス対処方法の一つでもある

子どものための心理的応急処置 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンより抜粋

# モルドバに逃れた子どもへの支援



遊び場でくつろぐ母親と子どもたち



小峯弘四郎撮影

学生寮に子どものためのスペースを  
設置（5/3撮影）

# 母子の心理的サポート (検討中)



障がい分野

# 紛争による障がい者への影響

社会で直面している困難さが  
より大きくなる

- 情報へのアクセス
- 物理的な障壁
- 周囲の態度、偏見
- 制度上の問題 など

緊急期

復旧期

復興期

# 障がいのある難民への支援（検討中）



モルドバの障がい当事者団体と面会し障がいのある難民のニーズについて調査

- ・ 129人に電話調査
- ・ 身体や精神、視覚障がい、自閉症など多様
- ・ 高齢者も多く、骨関節疾患や内部疾患を抱えている人もいる
- ・ 痛み止めなどの薬、大人用おむつなどの要望がある

# 障がいのある難民への支援（検討中）

- ・ アクセシビリティが確保された一時滞在スペースの設置を急いでいる。



# 地雷や不発弾が残存。復興の妨げに



- ・地雷の除去
- ・地雷の被害にあわないようにする教育（地雷回避教育）
- ・地雷の被害にあった人への支援
- ・現地の専門団体とともに実施予定

日本からできること

# 日本からできること 寄付



# SUNによる「ひまわりプロジェクト」

Saga Ukeire Network



令和4年4月15日

<https://www.facebook.com/sagaukeirenetwork/photos/111565734859066>

# 日本からできること 知る・広める・つなげる



## プログラムの詳細・申込について

以下の「国際理解教育サポートプログラム」詳細資料をご一読いただき、  
申し込みフォームからお申し込みください。

> 「国際理解教育サポートプログラム」  
詳細はこちら(PDF)

> [お申し込みフォーム](#)

継続したご支援をお願いします

